

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	むぎのこスクール (カモミール)		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 3月3 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 8人
○従業者評価実施期間	2026年 3月 4日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	肯定的な関わりができるように、対応に困った時には交代するなどして助け合うことが出来る。	職員同士が助けを求め、助けに入る練習を実際の場面をイメージして練習をしている。また、子どもたちにも助けを求めの大切さを伝えている。	スクール内で活動しているため、クラスを越えて助け合っていく。
2	子どもの意見を一番大切にしている。また子どもたちに良いところを共有していき、成長を感じられる。	何気ない会話から子どもたちの変化など話したり、チャットで共有し合うようにしている。	会話をより意識して行うことで、相手に伝わりやすい。
3	さまざまな活動に活発に取り組んでいる。	季節に合わせた活動を取り入れて行った。 子どもたちの「やってみたい」と可能な範囲で実現している。	グループ分けなど工夫し、車で遠出する子が偏らなくする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員同士、話をする時間を大切にしているが、送迎や勤務時間のちがうパートさんとは話をする時間をつくれない事がある。	クラス会議以外に話せる時間を作る機会が少なかった。	出来る限り、立ち話でも話す意識をする。 引き続き、直接話す時間が無いときにはメール等で共有していく。
2	行事など特別な活動の役割の細かい打ち合わせが出来ない事がある。	打合せは行っているが、一人ひとりに細かく役割りをつたえていく。	余裕をもって決め、役割分担も活動の前に周知できるようにやり取りをする。
3			